

議席4番

鈴木 英明 議員



介護福祉について

Q ケアラー支援の当町の取り組みについて伺う。

A 直近の10月の一カ月間では介護認定を受けている633名の方がデイサービス等の通所介護やヘルパー利用の訪問介護、介護用品購入補助、レンタル補助等のサービスを利用いただいで、ケアラーの負担軽減を図っている。

(福祉部長)

Q 第1回認知症カフェが開催されたが、今後どのように運営していくのか伺う。

A 今後コロナの状況を確認しながら、認知症サポーター講座を受講した子供たちを含めた認知症カフェを地域で開催できるように調

整し、参加者に寄り添った認知症カフェを開催していきたいと考える。

(福祉部長)

農業振興について

Q 近年の米価下落に影響を受けている農家に対しての事業継続の支援について伺う。

A 先駆的農業者と連携し、6次産業化による加工品として付加価値をつける取り組みや生産者にとって安定した有利な販売ができる出口の創設を検討していく。

(建設農政部長)

町政運営と、次期町長選挙について

Q 町長の2期8年の政策の成果についてどのように総括しているのか伺う。

A この2期8年間で、財政再建、人口増加対策、ひとの創生の3つの柱を立てて町政を推進してきた。個別の公約についてもすべて達成することができ、様々な事業を展開する中で境町は選ばれる町になってきた。

(町長)

Q 3期目の出馬表明の決意について伺う。

A 3期目の決意としては、3本の柱を実現するため、町の借金比率を更に下げ、水道料金等、国の制度以外の住民負担を上げることなく、境町に住んでよかった、ここに移り住んでよかったと思っただけのような町づくりを、議会の同意及び住民の理解を得たうえで、町職員の方々と共に実行し、進めて行く。

(町長)

議席3番

枝 史子 議員



学校図書館の充実について

Q 図書購入費の充実と今後の対応について。

A 図書購入費は、小学校に各校毎年25万円、中学校に35万円を

計上している。

蔵書数は、文科省の整備目標である「学校図書館図書標準」と比較して、小学校では基準を概ね満たしているが、中学校では不足の状態。

今後とも、活用できない蔵書の廃棄や、新しい図書の購入を進め、図書館資料の充実に努めていく。

(教育次長)

Q 学校図書館支援員の配置・勤務の現状と今後の対応について。

A 当町の小中学校では、3名の学校図書館支援員を配置し、1名が3校掛け持ち、2名が2校掛け持ちで、1日3時間週1日から3日の割合で勤務を行っている。

仕事内容は、貸出作業補助、揭示物作成といった図書館運営に係る職務全般の他、読み聞かせや読書集会の支援等、図書館教育充実のための職務も担っている。

今後とも、学校図書館支援員が担任と連携して、国語科のみならず、さまざまな教科の調べ学習等の支援を行うことにより、学校図書館が「学習センター」機能を発揮できるよう努めていく。

(教育次長)